



地域の人に守られて



遠藤和雄 議員

## 子ども達のより良い教育を 考える環境づくりについて

家庭・地域社会・学校が連携して取り組む

子ども達を取りまく教育環境が急変する中、子ども達のいじめ、親の児童虐待等多発している。池田町ではどうか。

教育長

いじめの定義が変わり児童生徒の立場に立って調査する事が増えた。町内ではいじめによる問題行動3件、児童虐待とは断定できない類似案件が1件あったが、学級会、保護者を密にし解決した。児童虐待については健康福祉課、西濃子ども相談センターとも連携を図り解決に向けて努力していく。

## 標語を活かした 家庭・地域教育を !!

機会あるごとに話題にする



エ〜！ドキッ！

各公民館に標語があるが生かされていない。子どもを見守るために町報、PTA広報誌、公民館、学校等の配布物に掲載できないか。防災無線の五時のチャイムの後、有線放送で一言呼びかけはできないか。

教育長

青少年育成委員が中心になって地域住民全員で青少年を育てるた

め、触れ合い活動、奉仕活動、家庭の日を啓発する活動に取り組んでいる。標語が「絵にかいたもち」にならないよう、青少年育成町民会議をはじめ機会あることに広めて行く。六割強の親が家庭教育力の低下を認識している。「七月から社会を明るくする運動」でPRする。その中で一口標語を入れていきたい。